

アンサンブル テスタ カルド 第15回演奏会

TESTA CALDA

2017.3.4 [sat]

open 16:30 start 17:00

於 ルーテル市ヶ谷センター

ticket

〔全席自由〕

前売 一般 ¥2,000 学生 ¥1,000

当日 一般 ¥2,500 学生 ¥1,500

〈プログラム〉 客演指揮：鷹羽弘晃

- ・ 鷹羽弘晃 …… 委嘱新曲／中国琵琶独奏：唐華
- ・ 藤元高輝 …… 委嘱新曲
- ・ 桜井至誠 …… 委嘱新曲
- ・ Eduardo Angulo …… Il sogno del pesciolino／ギター独奏：藤元高輝
- ・ Eduardo Angulo …… TEMPLARI
- ・ Stefano Squarzina …… Festliche Ouverture

※曲目は都合により変更になる場合があります。

Ensemble TESTA CALDA

『テスト カルド』(Testa Calda)とは、イタリア語で『熱く燃える、熱心な人たち』を意味する。

1982年にマンドリニスト片岡道子と門下生田島透を中心として発足。以来片岡道子の指導の下、『テスト カルド』の名に恥じない熱い心を持った音楽づくりと、躍動感のあるハーモニーづくりを心がけて、アンサンブルの可能性を探ってきた。これまでにマンドリニスト桜井至誠、望月豪らを輩出し、現在は片岡マンドリン研究所門下生20名ほどのメンバーで活動している。

定期演奏会、研究所発表会のほか、ドイツ・大阪・神戸・瀬戸内・東京等の撥弦楽器音楽祭への出演や招待演奏など積極的に演奏活動を行い、国内外の現代作曲家の作品を多く取り上げてきた。

2000年よりテスト カルドのための委嘱作品にも取り組みレパートリーの幅を広げている。これからも、現代曲をはじめ多くのすばらしい作品に接し、また新曲の委嘱により、マンドリンアンサンブルの“新しい何か”を求めて演奏活動を行っていきたい。



▲ 2014.5.31 Eurofestival Zupfmusik (ドイツブルッフザールにて)



《会場へのアクセス》

- ◆各線 市ヶ谷駅下車◆
- ◎JR総武線 地上出口 徒歩7分
- ◎都営新宿線 A1出口 徒歩7分
- ◎有楽町線 5.6番出口 徒歩2分
- ◎南北線 5.6番出口 徒歩2分

《チケットの取り扱い》

- ◇イケガク 03-5952-1391
- ◇絃楽器のイグチ 03-3378-5357
- ◇山本ミュージックコーナー 03-3363-9893
- ◇桜井マンドリン研究所 03-3253-5575
- ◇片岡マンドリン研究所 03-3311-3181

《お問合せ》

URL ◆ <http://kataoka-mandolin.jp/testa/>
e-mail ◆ testa@kataoka-mandolin.jp

客演指揮・作曲 鷹羽 弘晃〔Hiroaki TAKAHA〕

2001年桐朋学園大学作曲理論学科卒業。

パリ・エコール・ノルマル作曲科にてDiplome Supérieur取得。

第68回日本音楽コンクール作曲部門入選。室内楽、声楽を中心に作品多数。

マンダリンの作品に「水上の月」（マンダリン・ソロとピアノ、或はマンダリンアンサンブルとの協奏曲）がある。

またテスタカルドの委嘱で書き続けられた「響めきの研究」シリーズはeurofestival zupfmusik 2014 Bruchsalにて全曲初演された。



中国琵琶 唐華〔Tang Fua〕

中国四川省成都市に生まれ、音楽家の両親の元、幼児期より音楽に親しむ。7歳からバイオリン、9歳から琵琶を始めた。

四川音楽学院大学付属高校に琵琶専攻で入学。同大学民族音楽学部を最優秀で卒業。

琵琶演奏家、教育家王範地氏に師事。1986年、国立中央歌劇団に入団し、ソリストとして活躍。

1991年まで同団での重要な活動に参加しつつ、同時に新作の演奏やドラマ、映画の録音でも活躍。91年、活動の場を日本に移し、以来多くのリサイタルや音楽祭参加のほか、和楽／洋楽、シンセサイザー、舞踊との共演等、幅広く演奏活動を続け、その確実なテクニックと美しい音色で聴衆を魅了し続けている。

1995年には北米に演奏旅行。1998年香港で香港愛楽楽団と共演。1999年台北市政府の招きにより台北国家音楽ホールにてリサイタル開催。2002年唯是震一作曲、中国琵琶のための協奏曲「桃源」を東京にて初演。2004年5月にはドイツ3都市にてリサイタルを開催、いずれも好評を博す。2004年7月帰国、二人の男の子を育てながら中国と日本を行き来しつつ演奏活動を続けている。2006年と2010、2014年にヨーロッパ国際撥弦楽器音楽祭にソリストとして招待され、演奏し好評を得る。2016年5月30日に成都民族管弦楽団と中国琵琶の協奏曲を共演した。



ギター 藤元 高輝〔Koki FUJIMOTO〕

1992年東京都北区生まれ。

3歳より父からギターの手ほどきを受ける。これまでに村治昇、新井伴典、荘村清志、江間常夫の各氏に師事。同時に国内外のギタリストのマスタークラスを多数受講。

作曲を塩崎美幸、植田彰、伊左治直の各氏に師事。指揮を本多優之氏に師事。

2007年フォンテックよりCD「バルトーク／ルーマニア民族舞曲」を発表。

2008年ドイツ3都市（ボン、ケルン、デュッセルドルフ）にてソロコンサートを行う。

2014年作曲家今村俊博とのパフォーマンスデュオ「s.br.」結成。

コントラバス 加藤 雄太〔Yuta KATO〕

桐朋学園大学音楽学部を卒業、同大学研究科修了。

コントラバスを都筑道子、西田直文、河原泰則の各氏に師事。

タングルウッド音楽祭に参加したのをはじめ、インチョン&アーツ、パイロイト音楽祭、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト等に参加。ボルドー音楽祭にてロラン・ドガレイコ、ミシェル・ミカラカコス、ロラン・ピドゥー、パトリック・ジグマノフスキーらとシューベルトの「鱈」を共演した他、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、ラヴェンナ音楽祭、霧島国際音楽祭、東京・春・音楽祭、別府アルゲリッチ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ、鎌倉芸術館ソリスト等に出演。現在フリーランスで、ソロ、室内楽、オーケストラなど多方面で活躍中。

